

総合診療科は今までの救急外来とは違い、患者さんの話をしっかり聞き、身体所見をとり、何のためにどんな検査が必要か、じっくり考えることの大切さに気付かされました。毎日の振り返りでは自分が診察した患者さん一人一人に対し、フィードバックを頂けるため、とても参考になりました。まだまだ知らないことがたくさんあり勉強しなければと思いました。

新城市民病院に来て思ったことは、今まで救急外来では特に患者さんというより「病気」を診ていましたが、新城では高齢の患者さんが多いこともあり、問診で何人暮らしなのか、介護度、食事から排泄までどのような生活をしているかが、患者さんを診るうえでとても大切だということを教えていただきました。

毎日の勉強会はとてもためになりました。今まで論文に対しては抵抗があり、論文を積極的に読むことはありませんでしたが、論文の正しい読み方を教わり今後の勉強に生かせたらと思います。作手診療所では、小さい地域、小さい診療所での診察について学ばせてもらいました。できる検査も限られているところでは、問診や身体診察がどれだけ大切か実感することができました。また、病院よりも診療所の方が、より患者さんとの距離が近いように感じ、様々な悩みも含めて話を聞くことも診療の一つだと感じました。

訪問リハビリでは患者さんのお宅に訪問し、実際に退院された後どのように生活しているか、生活のためにはどんな訓練が必要なのかを教えていただきました。退院後のことを考慮するのも大切な医師の役割であることだと思いました。最後に、この1ヶ月新城市民病院の先生方、スタッフの方々に大変お世話になりました。

未熟で右も左もわからない自分を温かく迎えていただき、的確なアドバイスや、有意義な経験をさせていただきとても感謝しています。

地域医療の実態、どのような医療が必要とされているのかなども詳しく教えていただきとても勉強になりました。

1ヶ月新城市民病院でとても貴重な経験を積むことができました。

今後はこの経験を生かして活躍できたらと思います。ありがとうございました。